

# 広報 しばた



## 歯を大切に ちびっこ歯医者さん

子どもたちに歯医者さんを身近に感じてもらい、  
受診に対する不安を少しでも無くし、  
虫歯予防につなげることを目的に行われた歯医者さんのお仕事体験。  
子どもたちは、歯医者さんが治療で使う本物の器具を手にし、  
歯に詰め物をするお仕事などを体験していました。

ちょっと苦手だった歯医者さんにも泣かずに行けるようになりそうです。  
【写真:6月15日(土)しばた健康まつり2019&第34回歯と口の健康まつり】

令和元年度

# 自治功労者・町政功労者

## 表彰式

固総務課 ☎5512111



6月8日(土)、「令和元年度自治功労者及び町政功労者表彰式」が、槻木生涯学習センターを会場に行われました。式典では、滝口町長から町政の振興・発展に貢献された個人・団体へ感謝状が贈られました。

表彰を受けられた24人・8団体の方々は、次のとおりです。

(敬称略・順不同)

### 叙勲受章者(披露)

【旭日单光章】地方自治功労

大沼 實 (上川名字館山)

【瑞宝小綬章】教育功労

成田 信夫 (船岡西二丁目)

【瑞宝双光章】防衛功労

赤城 健 (船岡東四丁目)

佐藤 克広 (剣崎二丁目)

白石 雄三 (船岡字東原町)

新妻 裕一 (船岡字清住町)

【瑞宝双光章】教育功労

永澤 正雄 (北船岡二丁目)

堀内 榮 (北船岡二丁目)

【瑞宝双光章】国土交通行政

事務功労

天野 朴 (西船迫三丁目)

【瑞宝双光章】文部行政事務

功労

飯田 貞司 (松ヶ越二丁目)

【瑞宝单光章】防衛功労

岩橋 清喜 (船岡字上大原)

小林 清 (葉坂字戸ノ内)

下浅 勝雄 (下名字剣塚)

末永 盛男 (船岡字清住町)

【瑞宝单光章】消防功労

菅原 正治 (船迫字土平)

【紺綬褒章】私財寄附

玉瀧 均 (槻木上町二丁目)

### 自治功労者

【多年にわたり行政区長として地方自治振興に貢献】

加茂 行 (槻木白幡四丁目)

平間 榮雄 (上川名字館山)

佐藤 希夫 (北船岡三丁目)

【多年にわたりスポーツ推進委員として体育振興に貢献】

大沼 良子 (槻木上町三丁目)

【多年にわたり消防団員として消防防災に尽力】

後藤 正一 (船岡東三丁目)

平間 達也 (下名字清水)

高橋 進一

(大河原町字新青川)

志賀野 次男(槻木字館前)

加納 利美(槻木字館前)

大沼 之英(上川名字押茂)

高橋 智(入間田字前原)

平間 修(入間田字迫)

駒板 正則(成田字三河内)

【多年にわたり交通指導隊員として交通事故防止に貢献】

鈴木 ゆき子

(西船迫四丁目)

## 町政功労者

【産業開発、経済の振興及び観光の開発に貢献】

【船岡城址公園梅林内に休憩用のベンチを寄贈】

有限会社加藤土建

(船岡東一丁目)

【船岡城址公園山頂に作庭し公園整備に貢献】

一般社団法人宮城県

造園建設業協会青年部

(仙台市青葉区)

【教育・文化・体育の振興に貢献】

【町内の全新人児童に鉛筆セットを寄贈】

柴田ライオンズクラブ

(船岡中央二丁目)

【町内小学校6校及び図書館に児童図書を寄贈】

藤坂 宏子(上名生字迫)

【西住公民館に陶芸用の電動ろくろ等を寄贈】

西住やきもの愛好会

(西船迫二丁目)

【船迫公民館の駐車場に区画線等の塗装工事を施工】

村上舗装興業

(東船迫二丁目)

【しばたの郷土館へ藩祖伊達政宗御像頒布記念芳名簿を寄贈】

佐藤 忠(福島市笹木野)

【民生の安定に貢献】

【多年にわたり民生委員・児童委員として民生の安定に貢献】

平間

祝子(槻木西三丁目)

【敬老祝品として老眼鏡を寄贈】

株式会社メガネの相沢

(仙台市青葉区)

【むつみ学園にエアコン、児童用テーブル、椅子を寄贈】

ケーヒン労働組合

(角田市佐倉)

【槻木保育所にステージ幕一式を寄贈】

サクラ工業株式会社

(下名生字上納)

【治安の維持・防災に貢献】

【多年にわたり消防団員として消防防災に尽力】

大島 博志

(船岡中央一丁目)

伊藤 敬之(船岡字清住町)

浅野 明(船岡字上大原)

水戸 一浩(下名生字大畑)

【運輸又は交通の改良発達に貢献】

【多年にわたり交通指導隊員として交通事故防止に尽力】

卯花 かつ子

(船岡字清住町)

【保健衛生の向上に貢献】

【多年にわたり健康推進員として保健衛生の向上に貢献】

根元 さき子

(中名生字宮前)

【多年にわたり国民健康保険運営協議会委員として保健衛生の向上に貢献】

加茂 由美子

(槻木下町三丁目)

## 交通指導隊員として交通事故防止に貢献

鈴木 ゆき子さん  
(西船迫四丁目)



子どもたちの交通安全のためにとの思いで、交通指導隊に入隊しました。25年が経ちましたが、この仕事を誇らしいと思っています。

ここまで続けられたのも、先輩方や同僚の協力のおかげです。

交通量も増加し、入隊した頃と状況も変わってきましたが、子どもたちの安全を一番に考えて、これからも交通事故防止に尽力していきます。





# みんなで支えよう 心と命

～誰も自殺に追い込まれることのない柴田町を目指して～

## 柴田町自殺対策計画を策定（計画期間：2019年度～2023年度）

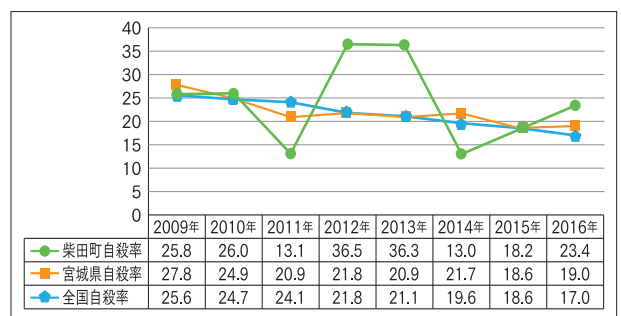
町では、自殺対策基本法に基づき、自殺対策の本質が生きることの支援にあることを改めて確認し、保健・医療・福祉・教育・労働その他の関連施策について、関係機関と連携して包括的な自殺対策を推進するため本計画を策定しました。

※柴田町自殺対策計画は、町ホームページに掲載しています。

問 健康推進課 TEL55-2160

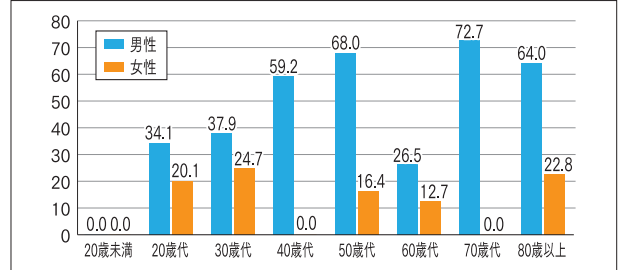


### 自殺死亡率の推移



出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」より柴田町作成

### 柴田町の性年代別の自殺死亡率（2012～2016年合計）



出典：自殺総合対策推進センター「地域自殺プロフィール（2017）」

### 柴田町の自殺の現状と課題

全国および宮城県の自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）は、減少傾向にありますが、当町においては年によって増減があります。また、性年代別に見ると、男性の70歳代が最も高く、次いで50歳代、80歳以上が高い現状です。自殺の背景には、精神保健や家庭、経済、社会問題

など、さまざまな社会的複合要因があり、その結果、命を絶たざるを得ない状況に追い込まれているのが実情です。自殺の現状や平成29年度に実施した町民健康調査などを分析すると、次のような課題が浮き上がりました。

- 健康問題はさまざまな問題と密接な関係があり、自殺対策の基盤として心身の健康の保持増進を図る必要がある。
- 家庭や職場などで身近な

### 基本認識

- ・ 高齢者の孤立や孤独感を防ぐために、地域での見守りや社会参加を増やす取組を行う必要がある。
  - ・ 働き盛り世代への心の健康づくりや、相談窓口の普及啓発に取り組む必要がある。
  - ・ 子ども・若者への心の健康づくりに関する知識や、SOSの出し方に関する普及啓発に取り組む必要がある。
- (1) 自殺はその多くが追い込まれた末の死である。
  - (2) 自殺の多くは防ぐことができる社会的な問題である。
  - (3) 自殺を考えている人は、悩みながらも心のSOSサインを発している。

## 基本理念

### みんなで支えよう心と命

～誰も自殺に追い込まれることのない柴田町を目指して～

「生きることの包括的な支援」として、町民・町・関係機関が手を取り合い、かけがえのない大切な命を守り、誰も自殺に追い込まれることのない町を目指します。

## 計画の数値目標

2023年までに自殺死亡률을30%以上減少させ、18.0以下とします。

	現状値（2018年）	目標値（2023年）
	2012～2016年の平均	2017～2021年の平均
自殺死亡率（自殺者数）	25.5（9.8人）	18.0以下（7人以下）

## 基本施策 自殺対策における基本的な取り組み

- (1) 地域におけるネットワークの強化
- (2) 自殺対策を支える人材の育成
- (3) 町民への啓発と周知
- (4) 生きることの促進要因への支援

## 重点施策 当町の自殺の特性から優先される分野毎の取り組み

- (1) 子ども・若者への対策
- (2) 働き盛り世代への対策
- (3) 高齢者への対策
- (4) 生活困窮者への対策

## みんなで心と命を支える事業

基本施策、重点施策を具体化し、計画の実現に向けて包括的に取り組むため、関係課が連携し、推進していく事業。

主な事業	<b>ゲートキーパー※ 養成講座</b> 地域の身近な サポーターを養成	<b>メンタルヘルス 講演会</b> 心の健康づくりに関する 知識の普及啓発	<b>心の健康 自己チェック</b> 自己チェックと 相談窓口の周知	<b>心の健康相談</b> 精神科医による 個別相談 (毎月1回)
------	--	--	--	--



※悩んでいる人のサインに気付き、声をかけ、話を傾聴し、必要な支援につなげ、見守る人のこと



平成30年度ゲートキーパー養成講座



柴田町長 滝口 茂

7月には、今年度の町政運営に大きな影響を及ぼす、地方交付税が国から内示されます。なぜ、内示を気にするかと言いますと、例年、地方交付税は約24億

円余りで、一般会計予算約117億円のうち、歳入の約20%を占めており、内示された額が当初予算計上額より多ければ、新たな住民サービスが追加できませんし、もし予算割れするようであれば、その分、住民サービスを縮小しなければならなくなるからです。本来ならば、地方で提供する住民サービスについては、地方が集める税金で賄えるような税制でなければならぬのですが、現実はそのようになっていません。国と地方との財政構造を大まかに申しますと、提供する住民サービスの割合は、国が1/3、地方が2/3であるのに対し、税収は、国が2/3、地方が1/3の割合となつていきますので、常に地方は、慢性的な財源不足に陥ることになります。このように、自前のお金で3割しか住民サービスが賄えない地方の財政状況を揶揄して「3割自治」と称されています。そのため地方自治体は、やむを得ず、国のお金をあてにして、陳情活動を展開し、我田

## 国の資金の有効活用

引水を図ることになります。地元、いかに国のお金を持つてくるか、つまり、いかに我田引水が図れるかで、政治家の力量が評価されてきたのが、これまでの政治の有り様でした。しかし、ここにきて、これまでの政治の有り様が少し変わりました。その象徴となった国の政策が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」です。この事業は、これまでのように国が示したメニューの中から地方が選ぶのではなく、地方が独自で考えた政策を国が全面的に支援する仕組みとなっております。

町は、これまで「花のまち柴田」と「里山ビジネスの振興」をテーマに、10の事業を率先して提案したところ、全ての事業が国に認められました。県内で完勝したのは柴田町だけです。最近認められた事業が、キッズバイクパーク整備に伴う、太陽の村のリニューアル化で、今後子どもたちの自転車のメッカにしたいと考えています。

このように、町は地方交付税の配分に一喜一憂しながらも、一方で、自ら独自の政策を提案し、国の資金を有効に活用しながら、財源不足を補っているのです。

## 芸術空間

Shibata Art Gallery  
No.4

# 『蓮池』 (水彩画)

保科

毅



真夏に咲く蓮の花。この絵は角田市神次郎の妙立寺の池に蓮の花が咲いている季節に描きました。私は主に里山を中心にしたのどかな風景を描いているので花を主題にした数少ない作品の一つです。(文 保科毅)



保科 毅(ほしな たけし) 1942年中国 旧満州生まれ。船岡中央在住。

●主に仙台で、グラフィックデザイナー、イラストレーターを経て61歳から本格的に水彩画の世界に。絵は独学。絵画教室を地元船岡、蔵王町で主宰する傍ら、船岡、蔵王町、丸森町、七ヶ宿町、仙台市などで個展を開催。



# 健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ59

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第59回のテーマは、「しばた健康づくりポイント事業」です。

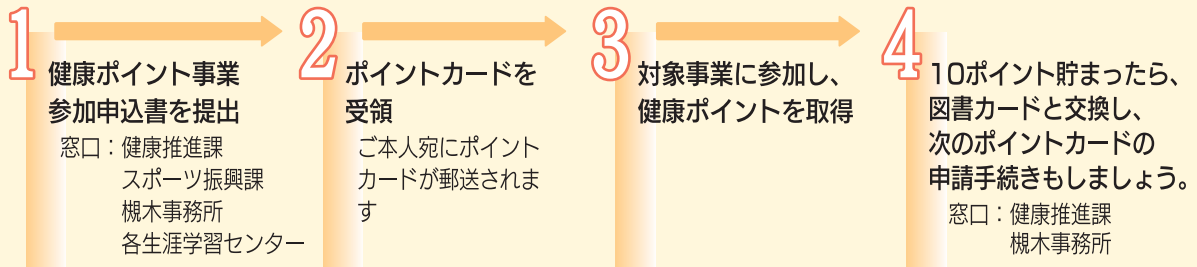
しばた健康づくりポイント事業は開始から6年目を迎え、昨年度は、延べ1,142人の方々に参加いただいています。健康ポイント対象事業は毎年見直し、今年度は46事業が対象となっています。

しばた健康づくりポイント事業に参加し、楽しく健康づくりに取り組みましょう。

## 事業内容

- 対象者 20歳以上の町民の方
- 対象事業 町が実施する健康づくり事業（詳細はお知らせ版4月1日号をご覧ください。）
- 健康ポイント 対象事業に参加すると、健康ポイントを1ポイント取得でき、10ポイントで図書カード（500円分）と交換できます。

## 申し込みからポイント交換までの流れ



## おすすめの健康づくり事業

- 健康100日チャレンジ  
都合がつかず、各施設などで行われている事業に参加できない方は、ご自宅で健康づくりに取り組むことができる「健康100日チャレンジ」がピッタリです。  
3つのチャレンジ種目からお好きな種目を1つ選んでチャレンジスタート。100日間毎日記録簿に記入し、達成状況により最大5ポイントゲットできます。  
「1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ」を実践するきっかけとして気軽にご参加ください。

### ①運動チャレンジ

1日1回30分の運動を100日間取り組む

<記録内容> 実施した運動内容や運動時間を記入

### ②計測チャレンジ

1日1回体重または血圧の計測を100日間取り組む

<記録内容> 計測した体重や血圧値などを記入

### ③禁煙チャレンジ

※現在喫煙されている方のみ可

100日間禁煙に取り組む

<記録内容> 吸いたくなったタイミングや我慢できた理由などを記入

受付期間/10月31日(木)まで 参加費無料

受付時間/8:30~17:15 (平日) 受付場所/健康推進課4番窓口

広 告

広 告

# まちかど NEWS



ドローンを活用して被災状況などの情報収集を行います。

緊急避難場所として、駐車場やロッジを提供してもらいます。



柴田町、株式会社表蔵王国際ゴルフクラブ「災害時における施設利用の協力に関する協定」の取り交わし式



コンクリートミキサー車で消防用水などを運搬してもらいます。

## 災害時における協力協定を締結

5月16日(木)、仙南2市7町と仙南地域広域行政事務組合、宮城県南生コンクリート協同組合は、消防用水などの確保に関する協定を締結しました。

5月22日(水)には、町は一般社団法人災害対策建設協会 JAPAN 47、株式会社ASTOSと無人航空機(ドローン)による協力に関する協定を、株式会社表蔵王国際ゴルフクラブと施設利用の協力に関する協定を締結しました。

柴田町の防災力がより一層高まることとなります。

## 第6回しばた匠まつり

NEWS

6月1日(土)、2日(日)に、船岡城址公園で「しばた匠まつり」が開催されました。

2日間で約2,200人が訪れ、全国から集った匠の熟練の技による木工や陶芸などの作品に魅了されました。

初出店の「はっぴーすとーん長良川」の入山忠衛さん(岐阜市)は、「石を使った作品を作っています。全国を回っていますが、ここは出店者のレベルが高いと感じます。出店すると、いろいろな体験ができて楽しいです」と話してくれました。



県内から14店、県外から37店の合わせて51店の出店がありました。

広 告

広 告



## 新元号「令和」記念もちつき



納豆餅やきな粉餅、あんこ餅が振る舞われました。

5月26日(日)、第29A区集会所で、第29A行政区文化部の「船迫ふる里もちつき隊」によるもちつきが、新元号「令和」のお祝いと、地域の皆さんとの親睦を図ることを目的に行われました。

もちつき隊の皆さんは、太鼓の音に合わせて、慣れた手つきで餅をついていました。

文化部部長の佐々木三郎さんは、「もちつきは年3回ほど行っています。もちつき隊で田んぼを持ち、そこで収穫した米でもちつきをするのが夢です」と話していました。

## 太陽の村散策ツアー



たくさんの植物に触れ、自然を満喫していました。

5月27日(月)、東船岡放課後児童クラブによる「太陽の村散策ツアー」に、東船岡小学校の1～6年生の児童60人が参加しました。

暑い中でしたが、子どもたちは、町民いこいの森を元気に散策していました。昼食後は、太陽の村で芝すべりなどをして楽しんでいました。

荒井綾介君(3年)は、「散策では、ヤマツツジや松の木、ナラの木を見ることができました。疲れたけれど楽しかったです」と話してくれました。



組合の皆さんによって、ホタルが生息できる環境が保たれています。  
※複数の写真を重ねています。

## 初夏の風物詩「ホタル鑑賞会」

6月14日(金)から16日(日)にかけて、上川名構造改善センター(農村レストラン縄文の幸)付近の水路で、上川名地区活性化推進組合による上川名ホタル鑑賞会が行われました。

19時30分頃から川面に光が映り出し、ピークを迎えた20時頃には、多くのホタルが飛び交う幻想的な光景に、訪れた多くの方が魅了されていました。

平間榮雄組合長は、「気温が低くホタルが飛びにくい状況で、これだけ多く飛んでくれて良かったと思います」と話していました。

広 告

広 告



こうほう 文芸

短歌

五月晴かごをめぐけて玉ほふる  
 選手はどなたも昔わかもの  
 薫風に静か水面は小波を  
 魚飛び跳ね飛沫照り映えり  
 靑空に吸い込まれる伸びゆく木々  
 初夏の訪れもう間近か  
 いじられて向かう相手ははるか先  
 泣き泣き帰る母待つ家路

船岡 可沼 妙子  
 船岡 西船迫 下浦 智子  
 四日市場 鳥井崎七十老

川柳

散歩して旨い空気に酔いしみる  
 お婆んちゃんかばつてもらいありがとう  
 雑草も花も多い初夏の庭

西船迫 安ヶ平良三  
 四日市場 鳥井崎七十老  
 船岡 小林 夢子

俳句

山あいの湯宿に咲くや山吹草  
 非常口の男のやうにくぐる蚊帳  
 掛け声の押し合ひ始む荒神輿  
 ただいまの声の大きく夕立晴  
 金津七夕和歌の流るる風の中  
 ふるさとの声をぶつける盆踊  
 糸切歯に力まだあり雲の峰

船岡 可沼 妙子  
 鎌形 清司  
 石母田星人  
 齋藤 善則  
 鈴木 三山  
 鈴木 清子  
 鈴木 幸子

秋の夜の座りなほしてまた独り  
 管弦祭終へて夕陽の海しづか  
 夕風や祭囃子を運びくる  
 平和かな普通の暮し豆ごはん  
 蒸し暑い雨音風が連れてくる  
 梅雨寒く衣類を戻す夏春を

相馬カツオ  
 峠 三枝子  
 吉田 啓子  
 西船迫 安ヶ平奈津枝  
 船岡 安藤 節子  
 西船迫 深見 半翁

稲育つ田んぼの見回り驚父さん  
 座敷より飛石つたひ花菖蒲  
 令和より心の一つ区切りつけ

船岡 村上 紫寿  
 船岡 加藤 マサ  
 西船迫 舟廻めぐる

春耕の土黒ぐると湿りいて  
 スギナの緑たくましく伸び  
 ガチャガチャでボンと出て来たおもちゃ手に  
 「ずるだずるだ」と孫憤慨す  
 羽生九段少年のごとき純真さ  
 新聞に見る梅雨入りの朝

船岡 伊藤タイ子  
 本船迫 森田 眞六  
 船岡 沢田 順子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで7月11日(木)まで応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告

## 2,000人のランナーに吹奏楽パワーを！ 音楽の響きが校風を醸す

榎木小学校は、吹奏楽部がある仙南唯一の小学校です。柴田さくらマラソンでは、コース脇で応援演奏し、ランナーにエールを送りました。楽器を始めたばかりの4年生は、ポンポンダンスを披露しました。選手の皆さんが笑顔で手を振ってくれたので、子どもたちは感激していました。榎木小学校では合唱にも力を入れており、秋の音楽発表会では、美しい歌声が校内にこだまします。子どもたちが、元気な中に落ち着きも併せ持つのは、素敵な音楽がいつも身の回りにあるからなのでしょう。



## SAKURA PROJECT / JOV活動参加 積極的に学ぶ子どもたち！



桜などの柴田町の誇りについて、英語で情報発信できる力を付けようというSAKURA PROJECTの一環であるJOV活動に、本校の児童も進んで参加しました。桜まつりに訪れた外国のお客さまに、英語で声かけのおもてなし活動をした子どもたちは、外国人が返事を返してくれたことに大きな喜びを感じ、自信を深めていました。そのほか、昨年度は「ふるさとCM大賞」や「新聞記事コンクール」「科学の甲子園」などの大会にもチャレンジして素晴らしい成績を取めました。

## 新1年生、初めての給食でも大丈夫！ 学校を支えていただく手厚い支援の絆

婦人会の皆さんが、初めて給食の準備をする1年生に、配膳や片付けの仕方をお手本となって教えてくださいました。そのほか、「しばたっ子応援団」の皆さまや地域のたくさんの方々から、読み聞かせや見守り活動、オアシス運動、ミシン指導、託児、樹木管理、体験活動講師などのさまざまなご支援をいただいています。年間を通して、子どもたちに目をかけ、手をかけ、心をかけていただいていることは榎木小学校の大切な財産の一つとなっています。



## 自分たちの学校は自分たちで良くしよう！ 自主的で活発な児童会活動



「1年生のお世話は僕たちにも任せてください！」 6年生は、1年生が早く学校に慣れるようにゲームやクイズで楽しませたり、お掃除の仕方を丁寧に教えてくれたりしました。自分が1年生だった頃を思い出し、当時の6年生への感謝を新たにしていた子もいました。そのほか、子どもたちが主体となる児童会活動を通していじめ防止運動や榎木駅前清掃、あいさつ運動、集会活動の運営、学級力向上プロジェクトなどに取り組み、より良い学校づくりに励んでいます。

〔榎木小学校長 浅間 郁雄〕

広 告

広 告

## 技術の向上に努め 地域に信頼される会社を目指します

三進株式会社

井上 正嗣さん (37歳)

今回は、一般電気工事の設計、施工を請け負っている三進株式会社の井上正嗣さんをご紹介します。



井上さんは、高校卒業後、土木工事の仕事を1年ほど行っていました。子どもの頃から父の仕事をする姿に憧れを抱いていたため、家業を継ぐことを決めました。

「父の仕事を見ていた時は楽しそうでしたが、実際に仕事をしてみると作業工程を考えなければならぬなど、難しいことが多く大変なことが分かりました。土木系の学科を卒業したので、電気工事の図面を見ても何が書いてあるか理解できませんでした。当時の社長である父や先輩に教えてもらいながら一つ一つ仕事を覚えました」と入社当時を振り返ります。

「電気設備工事は、照明などが正しく動作するように配線などを敷設するものですが、配線・結線を間違えると、本来とは違う動作を起してしまうため間違えることはできません。それだけに、無事に工事が終わり、お客様に納得してもらえると嬉しいです」と話してくれ

ました。

仕事を行う上で心がけている事を伺うと「安全管理には気を付けています。危険が伴う作業が多く、特に感電事故や、高所からの転落事故などに注意を払っています」と教えてくれました。

井上さんは今後について、「自分自身のスキルアップに努め、再生可能エネルギーなど、取り扱ったことのない分野にチャレンジしていきたいですね」と話してくれました。

「父は昔、仕事が休みでも、困った人が居れば、店を開けていました。私自身も、電気が付かなくて困ったとの相談を営業時間外に受け、対応した際に言われた『ありがとう』の言葉がとても心に残っています。どこまで近づけるか分かりませんが、自分も父のように地域の人に頼りにされる会社を目指したいと思います」と話す井上さん。これからも頑張ってください。



屋外コンセントの交換を行う井上さん。



三進株式会社

柴田町大字船岡字東原前162-9  
TEL 55-0384

昭和39年創業。一般住宅や工場などの電気設備工事を手掛ける。  
従業員1人。

### 人口と世帯数

(令和元年6月1日現在)



37,811人  
(前月比1人増)



18,885人  
(前月比1人増)



18,926人  
(前月比0人)



15,881世帯  
(前月比26世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。